

もくじ

えび人 vol.08	02	情報	09
今号の表紙	03	ホール・ギャラリー	12
HUGHUG子育て	04	相談	13
マイナンバーカードは お持ちですか	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
申し込み 予約制 祝日を除く 休み

 高齢者対象の教室など
  えびな健康マイレージ
 2018対象

市外局番…省略しているものはすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



バランスをとるのがむずかしかったです。
 杉本小学校 千田瑚子さん(10歳)

写真

タイトル: 河骨と黒トンボ
 撮影場所: 産川せせらぎ公園
 撮影者: 国分北在住
 吉岡里紗さん



編集雑記

野草など最近では在来の動植物が特に気になるようになりまし。地味だったり無骨だったりであまり気付かなかったけど、日本在来のものには共通の美があるように思えるのです。表紙写真のコウホネもしかり。絶滅危惧種に指定されているながら県では唯一海老名に自生している貴重な多年草です。こんなワンシーンが撮影できるのも海老名の自慢ですね。(あ)



地域で作り上げる「かかしまつり」

ことしで26年目を迎えた「中新田かかしまつり」。個性豊かなかかしが50体以上並ぶ田園風景は、海老名を代表する秋の風物詩です。農業を営む平井さんを中心に、有志の方々でかかしまつりを開催するようになったのは「海老名の米や野菜を知ってもらいたい」という思いから。それが長い年月とともに、海老名の魅力を発信するイベントに成長しました。

「見に来てくれるのもうれしいけれど、たくさんの人に参加してほしい」と、平井さんは毎年自宅の納屋を開放して「かかし作り教室」を開催。「教えているのは素朴なかかし。田んぼに合うのは一本足のかかしだから」と平井さん。「今では保育園や小学校も参加してくれるようになってきた。民間企業などもっといろいろな方に参加してもらって、地域内の交流を深めたい」と意欲を語ります。かかしまつりは9月8日(土)から24日(月)(振)まで。みんなの思いが詰まったかかしがことしも田んぼを彩ります。



田んぼにかかしがずらりと並ぶ



かかし作りを楽しむ子どもたち。中新田小学校での出張教室

かかしまつり問い合わせ先
 農政課
 ☎(235)8539

今月のえび人

中新田かかしまつり
 実行委員
 平井俊一さん
 (中新田在住・82歳)

平成5年、中新田連合自治会長の時に地域の仲間とかかしまつりを始める。農業一筋64年。現在もトマトやキュウリを栽培。